

哲學研究

第壹卷 第七冊

第七號

大正五年十一月一日發行

自覺に於ける直觀と反省……………文學博士 西田幾多郎	フイヒテの宗教哲學の發展……………文學博士 朝永三十郎	集團心理現象の概念及び本質……………米田庄太郎	クロツエの實踐哲學……………尾生光三郎	記憶に關する心理的假說……………文學士 深田武	學界近況……………	新著紹介……………	口繪……………	ジョサイア・ロイス肖像……………
----------------------------	-----------------------------	-------------------------	---------------------	-------------------------	-----------	-----------	---------	------------------

京都市帝國大學文學科大學內

京都哲學會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學士	中川得立
文學士	植田壽藏
文學博士	松本文三郎
文學士	深田武
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
寶嚴	方治

書記

みならず釋尊の教説も龍樹の哲學もタゴールの思想も孔子の教訓もニウトンの發見事項も皆悉く劫初のあなたから存在し來つた眞理の開發に過ぎない、然し著者の如く之に依て優波尼沙土と吠陀と同時存在を主張せんとすれば當に優波尼沙土に限らず東西幾億年來今日に至る人類思想の産物は残らず劫初の一點に集中し歴史は零とならざるを得ぬ、畢竟眞理そのものと眞理より生じたる産物との關係、種と果との區別が明になればよいと思ふ、がこの點に就ては著者は別に「優波尼沙土哲學」を著し「天文学上の研究の結果」(四〇頁)などにより證明されてあるそうであるからこの問題はその讀むまで結論は見合して置くが至當であらう。その他の疑義と所見今は略す。

要するに若し以上述べ來りし中尠くとも私の疑問となした點だけなりとも解決されないとすれば本書には乍遺憾著者のみならず或は出版關係者の不注意と不誠實と早計とが到る處現はれて居るといひ得る、然も梵語印刷上自然有り得べしと思はるゝ誤植は之を看過した事を明言して置く、若し忌憚なくいふ事が許さるゝならば私が本書を讀んで得た感じは恰も一の速記録を讀まされる様であつた、殊に漢字に於て梵が假(佛典にては之を普通ボンと讀む(一九二頁)、我が語とせらるるが如き(二〇四頁)たとへ誤植とするもその極めて不自然なるものなることを知りて益々この感を深くせざるを得なかつた、然しこれ或は私の淺學の致す所であらんと恐る、著者よ請ふ私のこの痛ましき疑念を晴らせ、若し幸にして私のこの疑念が晴らされたならば私は私は本書を印度思想研究の入門書として相當參考になるものだと思はるゝ事を辭せぬ、眞面目なる

印度紹介の著述亦難事業なる哉、妄言多謝。(東京牛込大來町中ノ丸新潮社發行、四六版五二六頁、定價壹圓八拾錢)。(本田義英)

寄贈雜誌

哲學雜誌、心理研究、丁西倫理官講演集、六合雜誌、東亞之光、第三帝國、學校教育、教育、内外教育評論、普通教育、小學研究、教育研究、教育學術界、教育界、東京教育、京都教育時報、兵庫教育、奈良教育、静岡縣教育時報、越後教育雜誌、滋賀縣教育會雜誌、岐阜縣教育、三重教育、愛知教育雜誌、長崎縣教育雜誌、愛媛教育、都市教育、信濃教育、佐賀縣教育、宮城縣教育會雜誌、藝備教育、宮城教育、

會

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候

一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文科大學内 京都哲學會
振替口座大阪參〇六六參番

告

價定

廣告料

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	冊	金	貳拾	錢	壹
六冊(前金)	冊	金	壹圓貳拾	錢	不
十二冊(前金)	冊	金	貳圓四拾	錢	不
一頁	金拾	圓	半頁	金六	圓

註文規

- 會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金(東京二八〇番)寶文館宛に願上候前金切れの場合に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- 見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正五年九月二十八日印刷納本
大正五年十月一日發行
第七號 第一卷
第七册

京都帝國大學文科大學内

編輯者 京都哲學會

右代表者 寶嚴方治

發行者 大葉久吉

印刷者 青柳十一郎

印刷所 秀英舎第一工場

不許複製
——
禁轉載

發行所

東京日本橋區本石町三丁目
(振替口座東京二八〇番)

寶文館

發賣元

東京市日本橋區本石町三丁目
大阪市東區淡路町四丁目

寶文館

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館、
(京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

東京帝國大學
文科大學教授

文學博士村川堅固著

(大正五年九月新刊)

最新刊

西洋上古史

村川博士の本著は斯界の恩恵なり

史學界の快著

西洋文化の淵源は上古史に存す。されば現代文化の眞髓を了解せんとするものは、先づ上古史を研究せざるべからず。而して西洋史に關する邦文の著書は其數少なからずと雖も、上古の事歴は概ね輕視せられたるの遺憾あり。乃ち西洋史特に其古代史に精通せらるる村川博士思ひに致され、邦人に消化し易き様最新研究の結果を綜合して之を博士獨特の筆を以て言文一致體に叙説せらる。即ち知る在來の西洋史に於て其一部分として取扱はれたる上古史とは、内容に於て全く其選を異にせることを、誠に學界の福音と云ふべし。敢て斯學研究者の一讀を仰ぐ。

斬新なる内容は一新機軸を開けり

好評嘖嘖たり

布裝	美本
箱入	全一冊
定價	金壹圓七拾錢
送料	金拾貳錢

振替口座 大阪四三	東京大阪 日本橋區 本町路 石文寶館	振替口座 東京二八〇
--------------	-----------------------------	---------------

哲學研究 第七號 大正五年九月